

項目	令和5年度計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>理事長 1名 (兼務)</p> <p>常務理事 1名 (兼務)</p> <p>事務局長 1名 (兼務)</p> <p>事務局員 4名 (出向)</p> <p>非常勤 1名 (産業医)</p> <p>合計 8名 (内3名は兼務、4名は出向)</p>	<p>●実績人員</p> <p>●実績</p> <p>理事長 1名 (うらら園長兼務)</p> <p>常務理事 1名 (たつみ、ひのか副園長兼務)、</p> <p>事務局長 1名 (常務理事兼務)</p> <p>事務局員 4名 (出向) 内 1名 7月末日退職、</p> <p>非常勤 1名 (産業医)</p> <p>合計 8名 (内、2名は兼務、4名は出向)</p>		
重点項目	<p>1. 健康管理の充実</p> <p>○生活習慣病の改善</p> <p>定期健康診断により、指摘が多い高血圧、高脂質、高血糖など有所見者に対し健康指導を行っていくほか、衛生委員会が中心になり、健康診断検査項目の拡大など、数値の改善にむけた取組方法を工夫しながら周知を図る。</p> <p>○メンタルケアの充実</p> <p>対人関係や仕事の多忙による過度なストレスを感じる人が多い状況下において、福祉で働く職員にとっても利用者などへのより良い支援サービスを提供するうえで、心の健康を保つメンタルケアが大切である。ストレスチェック制度や産業医の協力の基に取組んでいく。</p> <p>○衛生委員会との連携</p> <p>衛生委員会の議事内容を把握し、衛生委員会の活動と連携して職員の健康維持に努める。</p> <p>2. 長期修繕計画の策定と修繕の実施</p> <p>業者が作成した長期修繕計画の内容を精査し、工事の実施時期、費用の工面、補助金の申請など業者と打ち合わせを行っていく。</p>	<p>1. 健康管理の充実</p> <p>○生活習慣病の改善</p> <p>・健康診断は、うらら、高齢部門が5月に実施。たつみ、ひのか、学童は11月に実施。</p> <p>○メンタルケアの充実</p> <p>・ストレスチェックを新しい業者で実施。紙媒体での実施から、WEB 実施にした。</p> <p>○衛生委員会との連携</p> <p>衛生委員会の議事内容を把握し、衛生委員会の活動と連携して職員の健康維持に努める。</p> <p>2. 長期修繕計画の策定と修繕の実施</p> <p>調査により判明した、外回りウッドデッキの改修について改めて、デッキ回収箇所を限定し、業者に対して概算見積を徴した。</p>	<p>1. 健康管理の充実</p> <p>○生活習慣病の改善</p> <p>・検査結果に合わせて有所見者に対して、健康指導や数値改善に向けての提案を衛生委員会と協同して行った。</p> <p>・定期健康診断の分析を行い、産業医から指示があった再受診者・再検査者のフォローアップを実施した。</p> <p>○メンタルケアの充実</p> <p>・ストレスチェックを12月に実施。</p> <p>高ストレス判定者にはEAP 医師との面談を勧めた。</p> <p>衛生委員会実施内容</p> <p>4月 職場におけるハラスメントについて</p> <p>5月 自律神経失調症について</p> <p>6月 就業後のパワーチャージタイムについて</p> <p>7月 信頼関係とストレスの関係性について</p> <p>8月 衛生委員会について再確認しよう</p> <p>9月 ゼロから学ぼう！男性の育児休暇取得について</p> <p>10月 仕事と育児の両立支援</p> <p>11月 コロナ禍で乱れた生活リズム「自律神経」から整える</p> <p>12～1月 実施なし</p> <p>2月 ホウレンソウはもう古い？社員の働きやすさに繋げる価値ある雑談とは</p> <p>3月 実施なし</p> <p>2. 長期修繕計画の策定と修繕の実施</p> <p>・概算の費用が 1,320,000,000 円であった。建物の維持管理として防水工事も必要であることから、今回の概算見積を基準として補助金の申請や借入の申請を行っていく。東京都補助金の申請時期は毎年、1月と7月。</p>	<p>1. 健康管理の充実 95%</p> <p>・健康診断有所見者や高ストレス者には衛生委員から声掛けを行った。また、有所見者は産業医と・高ストレス者に対してはEAP 医師との面談を勧め、健康維持に努めた。</p> <p>2. 長期修繕計画の策定と修繕の実施 90%</p> <p>計画の方向性が決定したので、補助金・借入金の申請スケジュールに合わせた資料の作成を行っていく。</p>

項目	令和5年度計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度
	<p>3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用</p> <p>○保育部門 昨年度に引き続き外注の求人ページを活用しながら、職員の安定確保に向けて就職フェアなどに参加していく。</p> <p>○高齢部門 ローコストの求人方法を調査し、公的なサービスも活用しながら安定運営に向けた人材確保を目指す。</p> <p>○1階和室を有効活用した事業展開を検討し、開始に向けて準備を進めていく。</p>	<p>3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用</p> <p>○保育部門 外部業者主催、保育団体・行政主催の就職フェアに計3回参加。</p> <p>○高齢部門 ・事務職員の退職に伴い、事務部門の業務を見直し、会計処理については業者への委託も開始した。 ・外国人人材活用に向けて、仲介業者を選定し、面談を行っていった。</p> <p>・活用のための会議は1回実施したが、具体的な活用法については話し合うまでに至らなかった。</p>	<p>3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用</p> <p>令和6年度採用職員 正規保育士6名 正規栄養士2名 非常勤保育士1名</p> <p>高齢部門の会計業務は外部委託を完了。法人全体の決算書類作成業務も委託することとした。 仲介業者と面談を重ね、令和6年度途中にネパール出身人材を採用予定。</p>	<p>3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用 90%</p> <p>・保育部門は令和6年度の必要職員の確保ができた。 ・高齢部門は必要職員の確保には至らなかったが、外国人人材の採用に向けた地盤ができた。</p> <p>令和7年度以降も職員の確保が必要となることが予測されるため、外部業者などを活用して人材確保に努める。</p> <p>・活用に向けて、他法人の取り組み事例など、引き続き調査していく。</p>
その他	<p>1. 理事会・評議員会の開催状況</p> <p>(1) 令和5年度理事会</p> <p>(2) 令和5年度定時評議員会</p> <p>(3) 令和5年度第2回理事会</p> <p>(4) 令和5年度第3回理事会</p>	<p>1. 理事会・評議員会の開催状況</p> <p>(1) 令和5年度第1回理事会 令和5年6月9日開催</p> <p>(2) 令和5年度第1回（定時）理事会（決議の省略評議員会） 決議がなされたとされる日 令和5年6月28日</p> <p>(3) 令和5年度第2回理事会 令和5年6月28日</p> <p>(4) 令和5年度第3回理事会 令和5年11月27日開催</p>	<p>1. 理事会・評議員会の内容</p> <p>令和5年度第1回理事会</p> <p>① 令和4年度事業報告（案）について ② 令和4年度決算報告（案）について ③ 理事長・常務理事の職務執行状況について ④ 監事監査報告について ⑤ 理事長・園長兼務者の定期昇給について ⑥ 役員等賠償責任保険について ⑦ 次期役員の選任について ⑧ 評議員会の招集について ⑨ その他の案件について</p> <p>令和5年度第1回（定時）評議員会</p> <p>① 令和4年度 事業報告案について ② 令和4年度 決算報告案について ③ 次期役員（理事・監事）の選任について</p> <p>令和5年度第2回理事会</p> <p>① 理事長・常務理事の選出について</p> <p>令和5年度第3回理事会</p> <p>① 諸規程の改正について ② 令和5年度 中間事業報告（案）について ③ 理事長・常務理事の職務執行状況について ④ 大規模修繕について ⑤ その他の案件について</p>	

<p>(5) 令和5年度第4回理事会</p> <p>(6) 令和5年度第2回評議員会</p> <p>2. 法人登記</p> <p>(1) 資産総額の変更登記</p> <p>(2) 役員に関する事項変更登記</p> <p>3. 法人監査</p> <p>令和4年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事2名により実施予定</p> <p>4. 届出関係</p> <p>(1) 労働基準監督署</p> <p>① 時間外労働の協定書</p> <p>② 変形労働時間の協定書</p> <p>③ 規則・規程</p> <p>(2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部</p> <p>介護職員処遇改善金に係わる届出</p> <p>(3) 東京都</p> <p>行政財産使用許可申請</p>	<p>(5) 令和5年度第4回理事会</p> <p>令和6年3月19日開催</p> <p>(6) 令和5年度第2回評議員会</p> <p>令和6年3月27日開催</p> <p>2. 法人登記</p> <p>(1) 資産総額の変更登記</p> <p>(2) 役員に関する事項変更登記</p> <p>3. 法人監査</p> <p>令和4年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事2名により実施予定。</p> <p>4. 届出関係</p> <p>(1) 労働基準監督署</p> <p>① 時間外労働の協定書 ② 変形労働時間の協定書</p> <p>(2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部</p> <p>介護職員処遇改善交付金精算</p> <p>(3) 東京都</p> <p>行政財産使用許可書（るりたつみ学童保育クラブ敷地）</p>	<p>令和5年度第4回理事会</p> <p>① 諸規程の改正について</p> <p>② 令和5年度補正予算（案）について</p> <p>③ 令和6年度事業計画（案）について</p> <p>④ 令和6年度当初予算（案）について</p> <p>⑤ 理事長・常務理事の職務執行状況報告について</p> <p>⑥ 葛飾区たつみ保育園の運営受託について</p> <p>⑦ 御蔵島村保育園の運営受託について</p> <p>⑧ 老人施設の給食業務委託業者について</p> <p>⑨ 評議員会の開催及び議題について</p> <p>⑩ その他の案件について</p> <p>令和5年度第2回評議員会</p> <p>① 令和6年度 事業計画（案）について</p> <p>② 令和6年度 当初予算（案）について</p> <p>③ その他の案件について</p> <p>2. 法人登記</p> <p>(1) 資産総額の変更登記</p> <p>令和5年3月31日現在の資産の総額が、2,244,012,354円となり、令和5年6月30日に変更登記を行った。</p> <p>(2) 役員に関する事項変更登記</p> <p>理事長齊藤真弓の重任について、令和5年6月30日に変更登記を行った。</p> <p>3. 法人監査</p> <p>令和4年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事2名により令和5年6月6日に実施した。</p> <p>4. 届出関係</p> <p>(1) 労働基準監督署</p> <p>① 時間外労働の協定書 ② 変形労働時間の協定書</p> <p>(2) 東京都福祉保健局高齢社会対策部</p> <p>介護職員処遇改善交付金精算</p> <p>(3) 東京都</p> <p>行政財産使用許可書（るりたつみ学童保育クラブ敷地）</p>	
--	--	--	--

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度																																																																																
利用定員	<p>●事業定員</p> <table border="1" data-bbox="261 279 661 363"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児以上</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>24</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">合計 69人</p> <table border="1" data-bbox="261 415 759 499"> <tr> <th>年齢</th> <th>0歳児</th> <th>1歳児</th> <th>2歳児</th> <th>3歳児</th> <th>4歳児</th> <th>5歳児</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">合計69人</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	人数	9	12	12	12	24	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	12	12	12	12	12	<p>●実績人員 ◎通常保育…月別在籍数</p> <table border="1" data-bbox="893 289 1679 373"> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>61</td> <td>61</td> <td>61</td> <td>64</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>66</td> <td>66</td> <td>66</td> </tr> </table> <p>○年度途中の入退園</p> <p>入園 0歳児4名 1歳児1名 2歳児1名 3歳児1名 退園 1歳児1名 1歳児1名 3歳児1名</p>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	人数	61	61	61	64	67	67	67	67	67	66	66	66	<p>●予算定数等 ◎延長保育登録実績</p> <table border="1" data-bbox="1709 289 2466 485"> <tr> <th>月別</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> </tr> <tr> <th>月別</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>28</td> <td>24</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計 261名</p>	月別	4	5	6	7	8	9	人数	18	18	20	18	19	20	月別	10	11	12	1	2	3	人数	28	24	26	27	22	23	
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上																																																																															
人数	9	12	12	12	24																																																																															
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																																														
人数	9	12	12	12	12	12																																																																														
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																								
人数	61	61	61	64	67	67	67	67	67	66	66	66																																																																								
月別	4	5	6	7	8	9																																																																														
人数	18	18	20	18	19	20																																																																														
月別	10	11	12	1	2	3																																																																														
人数	28	24	26	27	22	23																																																																														
職員配置	<p>●予定人員</p> <p>施設長 1名 監督職 1名 一般職 23名 (内1名 育児休業取得) 非常勤職員 12名</p> <p style="text-align: right;">合計 37名</p>	<p>●実績人員</p> <p>施設長 1名 監督職 1名 一般職 24名 非常勤職員 12名 (内1名 育児休業取得中)</p> <p style="text-align: right;">令和6年3月時点 合計 38名</p> <p>○年度途中の入退職</p> <p>○入職：4月 非常勤調理員 1名 ○退職：4月 正規保育士 1名 7月 正規保育士 1名 ○契約満了：4月 派遣保育士 1名</p>																																																																																		
処遇の特例事項	<p>●感染症予防・拡大防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルに基づいた対策を行う <p>*冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。</p> <p>*新型コロナウイルスについて、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。</p>	<p>●感染症の状況</p> <p>4・9・10・11・1月 インフルエンザA型 11名/5・9月 溶連菌感染症 2名/5・9・10・12月 咽頭結膜熱 9名 6・7・9・11月 手足口病 26名/6・8・9・1・2月 新型コロナウイルス感染症 6名/6・9・10・12月 突発性発疹 4名 7・8・10月 ヘルパンギーナ 8名/8月 ヒトメタニューモウイルス感染症 2名/7・9月 RSウイルス感染症 5名 9・10・12月 流行性角結膜炎 18名 12・1月 ウイルス性胃腸炎 3名 1月 インフルエンザB型 1名/1月 インフルエンザ不明型 1名</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p> <p>●事故発生件数…受診を要する事故・怪我 78件</p> <p>内訳：切創12件/前頭部打撲/後頭部打撲/頭部打撲・擦過傷/右母指皮膚潰瘍/擦過傷24件/膨隆疹/異物誤飲/擦過創8件/左足外傷/切創・縫合/右外耳の異物混入/右足一指打撲・擦過傷(鼻)/左前腕骨折/頭部打撲2件/異物混入/ぶつけたことによる傷/挫創/上嘴唇裂傷/上唇小帯裂傷/外傷性の歯の脱臼/下顎左B歯牙脱臼/結膜異物/挫傷5件/打撲挫創爪剥離/上顎左1外傷性の打撲挫創/歯茎・下唇の裂傷/左手異物/ひょう疽/右足小指中足骨骨折/右目瞼挫傷/裂創</p> <p>●新型コロナウイルス感染症関連</p> <p>・区の通達により、5月8日付で新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に移行となったため、それに伴い、園からの見解を保護者にメールにて発信。今まで保護者参加の行事(誕生日会・保育参加など)は密を避け、人数・時間制限を行っていたが全て解除し、通常での実施を開始した。</p>	<p>●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行った。</p> <p>●各感染症に感染症拡大の兆しがあった場合は、主任・看護師・リスクマネージャーで迅速に対応策を検討。職員へ周知後、感染症拡大防止に努めた。</p>																																																																																	

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度事業実績	令和5年度 事業実績 具体的内容	達成度
重点目標	<p>①保育の再考、充実の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育環境について考察を深め、再構築する <ul style="list-style-type: none"> ・子供を“真ん中”にした保育を意識し、子供の育ちを捉え、保育環境（室内・園庭・裏庭）について再考し、実現してゆく。 ・福祉とは？教育とは？という観点から掘り下げ“保育とは？”を日々問いながら「暮らしの豊かさ」につなげ、うららの保育を再考する。 ○安心・安全な保育 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナとの共存からこれまでの様々な規制が緩和してゆく中で、リスクマネージャーを中心とした安全計画に基づいた実践を行い、保育の安定、継続を図ってゆく。 ・『チーム保育“わたしたち”』を意識した組織づくりを行うとともに、子供たちにとって、保護者にとっての『安心とは？』を職員間で共有し、考察してゆく。 ・適宜マニュアルを見直し、保育現場で活用しやすいものに改訂し、安全保持に努める。 ・BCP（事業継続計画）の再構築を行う。 ②事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの取得 <ul style="list-style-type: none"> ・ICTシステムを活用するとともに、業務の整理を行い、事務の効率化を図る。 ・ノンコンタクトタイム及び、残業時間を減らす取り組みを再考し、取り入れていく。 ③保育の組織力強化 <ul style="list-style-type: none"> ○職員階層の再編。保育課題の検討と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチームそれぞれが、事業計画の重点項目と連動した保育課題の解決に向けて“チーム力”を強化していく。 ○新任層の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・バディ制度を導入し、保育業務全般や法人職員としての心得を理解してゆく。 ○ファシリテーターが中心となりつつ、職員それぞれが積極的に参画できる職員会議や園内研修の企画、運営を行い、会議の活性化を図る。また中堅層も、会議の運営、企画を学びながら、主体的に活動できる環境を整える 	<p>① 保育環境の再考、充実の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○室内、園庭環境についてワーキングチームを中心に研修を受講。各クラス間でも玩具選定、食事時の環境設定にも視野を広げ、暮らしを整えていった。室内環境の改善に向けて考察を深めてはいたが、始動が緩やかだったこともあり、深めるところまでは至らなかった。 ・植物と共にある暮らしが根付くよう、子供たちと共に植栽をし、興味・関心を広げていった。また講師を招致し、子供たちが自然物と触れる機会も設けた。 ○コロナ禍が終息し「安心・安全な保育とは」を職員間で再度考察し、保育の安定を図ったが、事故・怪我が多く安全対策委員会を招集し、検討・再発防止策を図る機会が多かった。 ・保護者参加型の行事を実施し、園との交流を深めた。 ・時代に沿った保育を意識し、適宜マニュアルや実践の見直しを行った。 ② 事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの取得 <ul style="list-style-type: none"> ・書類のICT化と共に、ノンコンタクトタイムの取得も並行して進めていった。 ③ 保育の組織力強化 <ul style="list-style-type: none"> ○保育課題の解決に向けてワーキングチームを編成し、チームミーティングの機会を設けたが、体制が整わず一部チームのみの実施やミーティング形態を工夫し、行う機会が多かった。 ○新任層の育成に向けバディ制度を導入する予定で進めていたが、メンバーの編成まで至らず、リーダー・中堅層、またクラスリーダーが主となり、クラス間やクラスの垣根を越えて対話を深めた。 ○園内研修・会議・行事の前に主任・リーダー層で集まり、リーダー層の意見を取り入れながら、今の現場に必要なものを各自提案し、実施した。 	<p>① 保育環境の再考、充実の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○幼児三家クラスの子供たちを中心に園庭・裏庭・アトリエの三拠点を活性化するため、子供たちと保育士で対話をしながら進めようと試みた。 ・子供達自ら玩具の出し入れがしやすいよう保育士が環境を工夫したり、食事時の環境やしつらえについて職員間で今一度振り返り、子供たちと共に暮らしのあり方を考察し、整えていった。 ・講師を招致し、6月に2歳児～5歳児向けに「木育ワークショップ」を実施。それぞれが木と戯れ楽しむ機会となり、さらに保育士にとっても自然物を保育に活かしてゆく学びとなった。また、10月には職員向けに「装い・纏い」について研修を実施。自分たちを対象化し、「装い×保育環境」について職員間で考え、対話する機会を設けた。 ○骨折を伴う事故が2件あり、都度安全対策委員会を開催し、要因分析と再発防止策を挙げ、ミーティングや職員会議にて職員間に周知し、保育の根本的な要因を皆で考え、対話する時間を設けた。 ・安全計画に基づき、講師を招致し、職員を対象に防犯訓練を行い、講話と実地から防犯についての意識も高め、大災害時の避難について新任職員を対象に水害について学びを深めた。 ・保護者参加型の行事を企画し、参加を募り開催。職員も交流し貴重な機会となった。 ・防災対策として、園内・戸外時の園児の帽子着用について仕様を変更。熱中症防止対策として、水分補給時の麦茶の適温温度を検討し、提供した。また、りんごの誤嚥・窒息の事故を受け、りんごを含め梨・柿の提供形状を変更。 ・4月より、「慣れ保育」を「出会いの保育」に変更。子供と保護者が共に園で過ごす時間を設けたことで、子供も保護者も安心して新しい環境にスムーズに慣れていく姿があった。 ② 事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの取得 <ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬より、正規担任保育士のノンコンタクトタイムを試験的に実施。クラス内で工夫して取得可能時間を調整しながら定着化を目指したが、安定的な定着までには至らなかった。また、児童要録など書類のICT化を行い、来年度に向けて午睡チェックの連動と、連絡ノートの電子化に向けても準備を進めた。 ③ 保育の組織力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの担任間で振り返りを行い、困りごとや疑問点を挙げながら対話を重ね、次の日の保育に活かそうとする姿があった。 ・園全体の良好な組織風土づくりとして、全国私立保育連盟主催園内研修コーディネーター育成講座や、保育ファシリテーター実践研究会に副主任・他職員が参加した。 ・各自、研修に参加し、個々で学んだことを実践へ繋げたり、研修報告を行い、学びを皆で共有した。 ・園内研修・職員会議などの前には、主任・副主任・リーダー層が、それぞれの視点や意見を取り入れながら、今の現場に必要な会議となるよう、各自提案し、活性化を図った。会議の内容を、共有から往還型研修へと発展してゆく働きかけも行った。 	<p>達成度 85%</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育環境について課題を抽出し考察を深め、子供の育ちを支える園庭・室内環境を再考→展望してゆく。また、日々の保育を振り返りながら「暮らしの豊かさ」につなげ、うららの暮らしを再構築してゆく。 <p>達成度 70%</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ICTシステムの本格的な導入と事務業務の効率化を目指す。 ・ノンコンタクトタイム及び、残業時間を減らす取り組みを再構築し、実施していく。 <p>達成度 70%</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員階層の再編とともに、新任・初任層とうららの根幹を考察し、保育の充実を図りながらスモールステップを踏み保育の課題解決をしていく。またチーム力を高めるために、職員同士で対話を深めてゆく。
その他	<p>●地域子育て支援事業</p> <p>令和4年度の開催回数・実績に基づき、各事業の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てひろばの感染防止対策を踏まえた今後の開催方法の検討と実践。 ○利用者のニーズに合わせた講座の開催。 ○子育てひろばの更なる活性化を目指す。 ○ひろば事業におけるSNSの本格的な実施。 <p>●葛飾区指導検査 実施予定</p> <p>●利用者アンケート 12月に実施予定</p>	<p>●地域子育て支援事業</p> <p>令和5年度 利用登録家庭数 227家庭 (内新規登録家庭 39家庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類移行に伴い、全活動を従来通りの開催形態に戻し、実施。対面での子育て講座も再開し、4講座実施した。 ・地域連絡会に出席し、他施設のひろば事業と情報交換を行った。 ・SNSについてはインスタグラムを開設し、公開した。 <p>●葛飾区指導検査 1月実施</p> <p>●利用者アンケート（webアンケート） 1月実施</p>	<p>●計画通り実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類移行に伴い、体験保育を再開。0歳児クラス希望の保育体験が増えた。また講師をそれぞれの回に招致し、6月「心肺蘇生法」、9月「セルフプロミロミ講座」、12月「大災害時の避難について」、1月「手作りスプーンの会」を対面による子育て講座も再開。地域の方の参加も多くみられた。 ・利用者数・リピーター数も昨年に比べ、増加傾向にあり、他施設ひろば事業とのつながりが深まり、利用者の紹介による行き来もみられた。 ・保育説明会、スタンプラリーなど「にこわ新小岩」を中心とした活動にも協力参加した。 ・SNS（インスタグラム）のアカウントを開設し、投稿。書面だけでなく、次月のイベント情報などをタイムリーに公開した。 <p>●葛飾区指導検査 1月実施 指摘事項なし</p> <p>●利用者アンケート（webアンケート） 1月実施 (回収率：31.5% 満足度：大変満足 70.6%、満足 29.4%) 改善計画（案）の作成を行い、R6.3月メールにて保護者へ報告。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「からこる」の利用者ニーズに合わせた子育て講座の開催とともに、園独自の強みを見出ししていく。 ○他施設と連携を図り、情報交換を行いながら子育てひろばの更なる活性化と定着化を目指す。 ○ひろば事業におけるSNSの発信を軌道にのせ、定期的な発信を行う。

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度																																																																																		
利用定員	<p>●事業定員</p> <p>◎通常保育 0歳児 15名・1歳児 20名・2歳児 24名 3歳児 24名・4歳児 24名・5歳児 24名 合計 131名</p> <p>◎特別保育 一時：10名</p> <p>●予算定数 同上</p>	<p>●実績人員 ◎通常保育・・・月別在籍数</p> <table border="1" data-bbox="825 268 1507 373"> <tr> <th>月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>124</td> <td>125</td> <td>127</td> <td>129</td> <td>129</td> <td>129</td> <td>128</td> <td>129</td> <td>129</td> <td>129</td> <td>128</td> <td>128</td> </tr> </table> <p>○年度途中の入退園 入園 0歳児 4名、1歳児 0名、2歳児 2名、3歳児 2名、4歳児 1名、5歳児 1名 退園 0歳児 1名、1歳児 0名、2歳児 3名、3歳児 1名、4歳児 0名、5歳児 1名</p> <p>◎特別保育・・・月別利用児数(人)</p> <table border="1" data-bbox="825 611 1932 705"> <tr> <th>月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>一時</td> <td>46</td> <td>37</td> <td>41</td> <td>44</td> <td>81</td> <td>65</td> <td>64</td> <td>49</td> <td>58</td> <td>41</td> <td>53</td> <td>64</td> <td>643</td> </tr> </table>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	人数	124	125	127	129	129	129	128	129	129	129	128	128	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	一時	46	37	41	44	81	65	64	49	58	41	53	64	643	<p>◎延長保育登録実績</p> <table border="1" data-bbox="1961 254 2525 436"> <tr> <th>月別</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>35</td> <td>36</td> </tr> <tr> <th>月別</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>29</td> </tr> </table> <p>◎特別保育 ○新規登録数 一時保育：51名</p>	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	人数	35	35	34	36	35	36	月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	人数	33	34	35	34	32	29	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																										
人数	124	125	127	129	129	129	128	129	129	129	128	128																																																																										
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																									
一時	46	37	41	44	81	65	64	49	58	41	53	64	643																																																																									
月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																																																																
人数	35	35	34	36	35	36																																																																																
月別	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																
人数	33	34	35	34	32	29																																																																																
職員配置	<p>●予定人員</p> <p>施設長 1名 管理職 1名 (事務局長、たつみ保育園副園長兼務) 監督職 2名 一般職 29名</p> <p>非常勤職員 20名</p> <p>合計 53名</p>	<p>●実績人員</p> <p>施設長 1名 管理職 1名 監督職 2名 一般職 30名 (内2名 育児休業取得中、内1名 令和6年3月末まで休職) 非常勤職員 20名 (内1名 育児休業取得中) 令和5年度3月退職職員 合計2名(正規保育士2名)</p> <p>○年度途中の入退職・異動など</p> <p>入職：9月 正規調理員 1名 10月 正規調理員 1名、正規事務員 1名(本部より出向)</p> <p>退職：9月 正規調理員 1名、非常勤調理員 1名 10月 正規調理員 1名</p>																																																																																				
処遇の特例事項	<p>●感染症拡大防止の強化</p> <p>●安全管理体制の強化</p>	<p>●感染症の状況</p> <p>6・9・10・11・12・1・2・3月 インフルエンザウイルス感染症 61名 / 6・8・9・11・12・1・2・3月 感染性胃腸炎 20名 / 7・8・9・10月 新型コロナウイルス感染症 13名 / 8. 12. 1. 2月 溶連菌感染症 11名 / 4・5・7・9・1・2月 突発性発疹 9名 / 8・2月 RSウイルス感染症 7名 / 6・7・8月 ヘルパンギーナ 6名 6・7月 ヒトメタニューモウイルス 4名 / 7・9・1月 手足口病 3名 / 9・11月 水痘 2名 / 11・1月 咽頭結膜熱 2名 / 1月 流行性耳下腺炎 1名</p> <p>●事故発生件数…受診を要する怪我 77件</p> <p>顔面擦過傷 48件 / 眼球挫傷 5件 / 頭部打撲 3件 / 肘内障 2件 上唇小帯裂傷 5件 / 口腔内挫傷 4件 / 歯牙打撲 5件 / 刺傷(棘) 2件 鼻腔内異物挿入 1件 爪甲剥離 2件</p> <p>●新型コロナウイルス感染症関連</p> <p>・区より新型コロナウイルス感染症5類移行の通達を受け、園からの見解を書面にて保護者へ発信。 ・定例保護者会は園内にて通常開催。また、密を避け、人数・時間制限を行っていた保護者参加の行事(保育参加など)についても、制限を全て解除し通常での実施を開始した。</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし</p>	<p>○感染拡大防止策として</p> <p>・園内や近隣の感染状況等を鑑み、都度感染症予防対策を講じた。</p>																																																																																			

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	令和5年度 事業実績 具体的内容	達成度
重点項目	<p>① 組織力の向上</p> <p>○職員育成の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の役割を明確にし、目的意識を持ちながら、主体的かつ協力的に行動していく <p>○報告・連絡・相談の仕組みを再構築する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告・連絡・相談の意味を明確にし、一人一人がその重要性を理解したうえで、新たな仕組みを構築する <p>② 保育の質の向上を目指す</p> <p>○ひのかの現状を考察し、保育環境について対話する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の遊びや子どもの姿を記録し、それを基に職員や保護者と対話を重ねながら保育を振り返り、保育の充実を図る <p>○職員の対話の中からひのかで大切にしていきたいことを見出し、実践・考察・振り返りを繰り返す</p> <p>○人権について学びを深め、子どもとの関りについて省察する</p> <p>③ 安心・安全な保育環境をつくる</p> <p>○安全対策委員会の活動の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の事故事例やヒヤリハットメモを活用するなどし、職員の危機意識の向上を図る <p>○マニュアルの浸透化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度改訂したマニュアルを含め、読み合わせを計画的に行う ・引き続き、各種マニュアルの見直しを進め、必要に応じて改訂する <p>○安全計画に基づき、安全確保に関する取り組みを計画的に行う</p>	<p>① 組織力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員間で、各階層の役割を共有。異階層でワーキングチームを再編成し、チームごとにテーマを設け、リーダー層を中心に課題に向け取り組みを組んだ。 ・各クラスの《報告・連絡・相談》の現状を把握し課題を抽出。改善に向け対策案を講じた。 <p>② 保育の質の向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチームのテーマを、日常の保育に繋がられる内容に設定し、一人ひとりが思いを伝え合う場作りを行った。 ・全職員を対象に、ひのかの保育で大切にしたいことを見出したり、安心して働ける場づくりとして《根っ歩の時間》を実施した。 ・人権についての園内研修を実施し、園全体で人権を守る保育を実践するための学びを深めた。 <p>③ 安心・安全な保育環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策委員会及びクライシスマネジメントチームの再編成を行った。 ・備蓄品の整備を行った。 ・危機意識向上の取り組みとして、ヒヤリハットメモのフォームの改訂を行い、実践に繋がった。 ・安全な園外散歩の実施に向け散歩ルートマップを作成した。散歩マニュアルの改訂作業も進めたが、完成には至らなかった。 ・安全計画に基づき、園内研修を実施。職員一人ひとりの危機意識向上に繋がった。 	<p>① 組織力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが、階層ごとの役割を認識することでワーキングチーム内での活動意欲に繋がった。チームごとにテーマを設けて活動したがテーマの特性から進捗や内容にばらつきが見られる結果となった。 ・《報告・連絡・相談》について現状の把握を行い、個別の情報共有に関する認識の違いが明確となった。都度、クラス内での改善に向けた取り組みを行う中で、一人ひとりの意識向上に繋がっている。また、担当ごとに行った《報告・連絡・相談》に関するアンケートを基に情報共有の手引き書の作成を進めた。 ・階層ごとの園内研修実施に向け、管理監督職で計画を立て実施する予定だったが話し合いが進まず実施に至らなかった。 <p>② 保育の質の向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿を捉え対話する中で保育を深めることを目的とし、各チームごとにテーマを設け考察を行った。チーム内で目標を設定することで、リーダーを中心に活動の方向性を共有。取り組み方を見出し活動する姿が見られた。また、チームで活動する中で個々の悩ましきや思いを伝え合い他者の保育観にも触れる機会となった。3月の職員会議では、チームごとの活動内容を報告し、職員間で共有を図った。 ・日常の何気ない違和感等を言葉にし、対話することでひのかの保育で大切にしたいことを見出すことを目的とした《根っ歩の時間》を設けた。【子どもの着替え】【スカートの着用】等、日常に埋もれてしまいがちなことをテーマに挙げて対話することで、子どもの思いに触れながら日常に繋げる機会となった。 ・【子どもの権利条約カードブック】を基に《守られていない権利》についてグループワークを実施。また、これまでの人権に関する学びをより深めるべく【子どもの権利を守るとはどのようなことなのか】に視点を向け階層別の園内研修を実施。それぞれ自身のこれまでを振り返る中で、価値観の違いに気づき他者の見えない部分に触れる機会となった。 <p>③ 安心・安全な保育環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの課題であった不足していた備蓄品の購入を実施。備蓄用の倉庫も設置した。 ・ヒヤリハットメモの有効活用を目指し、チームで課題を抽出。現状の把握を行いながらフォームの改訂、実践に繋がった。 ・散歩ルートマップを作成し、目的地までのルートを明確にした。また、既存の散歩マニュアルを見直し、改訂作業を進めたが完成には至らなかった。 ・安全計画に基づき、園内研修を実施。葛飾警察署員を招いての不審者対応訓練では実際に体験したことで、職員から訓練の頻度を増やした方が良い等の具体的な意見も挙がった。 	<p>達成率 55%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチームの取り組みは継続して実施。 ・情報共有の手引き書を完成させ、意図や方法について周知徹底を図る。 ・育成に向けた園内研修の取り組み方を再度検討、実施に向け取り組む。 <p>達成率 65%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーキングチームは活動内容の充実が課題。リーダー層と意図等を明確に共有しながら継続して行っていく。 ・園全体で人権を守る保育を実践するにあたり、保育補助等も含めた職員との対話や学びの充実を図る。 <p>達成率 75%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる備蓄の充実と、非常時を想定した管理方法等、整備を行う。 ・引き続き、ヒヤリハットメモ等、安全に関する書類の振り返りを行い必要に応じて充実を図る。また、早急に散歩マニュアルを整え職員共有を図る。 ・安全対策委員会にて、不審者対応訓練について検討する。
その他	<p>○東京都福祉サービス第三者評価の受審</p> <p>○子育てひろば事業(一般型)</p>	<p>●東京都福祉サービス第三者評価の受審</p> <p>●葛飾区指導検査の実施</p> <p>●子育てひろば事業(一般型)</p> <p>平日 10時～15時 開放</p> <p>催し物・木の芽の会(離乳食の試食相談会)・こぐまの会(地域ボランティアによる絵本の読み聞かせ)・手作り玩具の会・園庭開放 等</p>	<p>○12月 東京都福祉サービス第三者評価による利用者アンケートを実施(回収率33.9%) 大変満足+満足=94.9% 要望、意見に対する回答を作成し、3月に文書配布した。</p> <p>○11月 葛飾区指導検査の実施 指摘事項なし</p> <p>○子育てひろば事業(一般型)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ5類移行に伴い、開所時間を通常時間に戻した。 ・催し物の内容の充実を図り、前年度から約2.5倍の利用者数の増加に繋がった。 <p>○令和6年度に地域交流スペースの活用の幅を広げるためのニーズ調査を開始。</p>	

<令和5年度 事業計画>

令和5年度 御蔵島村保育園 事業報告(案)

作成 令和6年5月13日

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度																																								
利用定員	<p>●計画人員</p> <table border="1" data-bbox="281 289 742 399"> <tr> <td>年齢</td> <td>0歳児</td> <td>1歳児</td> <td>2歳児</td> <td>3歳児</td> <td>4歳児</td> <td>5歳児</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0名</td> <td>0名</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>4名</td> <td>6名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計14名</p>	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	0名	0名	3名	1名	4名	6名	<p>●実績人員 ◎通常保育・・・月別在籍数</p> <table border="1" data-bbox="881 258 1573 357"> <tr> <td>月</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> </table>	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	人数	11	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14		
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																						
人数	0名	0名	3名	1名	4名	6名																																						
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																
人数	11	13	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14																																
職員配置	<p>●予定人員</p> <p>運営受託管理者(保育士) 1名 一般職 1名(保育士) 非常勤職員 6名(保育士資格保有者4名 子育て支援員1名) 合計8名</p>	<p>●実績人員</p> <p>運営受託管理者1名 一般職1名 非常勤職員6名 合計8名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など なし</p>																																										
処遇の特例事項		<p>●感染症の状況</p> <p>新型コロナウイルス感染症 7月…1名(4歳児) インフルエンザウイルス 1月…6名(5歳児:5名 4歳児:1名) ※インフルエンザウイルス流行により1月29日～1月31日休園</p> <p>●事故発生件数…受診を要する事故・怪我 6件 内訳…打撲、肘内障、裂傷</p> <p>●事故発生</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月2日 右手小指打撲 ・6月6日 右眉毛裂傷 ・11月17日 打撲 ・11月24日 肘内障 ・12月22日 打撲 ・1月11日 肘内障 <p>○新型コロナウイルスの情報収集・保護者・職員への注意喚起</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情無し</p>																																										

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	令和5年度 事業実績 具体的内容	達成度
重点目標	<p>①保育環境を考える</p> <p>○子供達の“やりたい”想いを引き出す保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達の姿を見ながら、色々な遊びを提案し、子供達の発想から遊びが産まれる場所 ・発達に合わせた遊びや、子供同士のやりとりを丁寧にサポートし、安心して過ごせる場所 ・地域の価値を伝え、人、自然、文化と繋がりを感ずることができる場所 <p>○共感しながら作る暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供、保護者、職員、友達など、様々な関係の中で、互いに想いを伝えあいながら、共に育つ場所を目指す。 <p>○安全な保育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所、子供達の遊び方、育ち、出来事、保育を通して感じたことなど、職員間で周知する時間を作り、安全、安心について考えていく。 ・外部講師を招いての研修や、リモート研修への参加。 <p>②行事の進め方</p> <p>○子供達の“やりたい”想いが形になる保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の遊びから、行事へのアイデアに繋がるようにする。 ・一人一人の子供が“自分を表現したい”と思える場所を作っていく。 <p>○日々の暮らしを丁寧に保護者へ伝えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真、日誌の掲示方法の検討 	<p>① 保育環境を考える</p> <p>○子供達の“やりたい”想いを引き出す保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の雰囲気の子供達も引き継いでいて、興味のあること、やりたいことを、自ら提案する姿があった。そのため、日々の保育活動や、行事も無理なく行うことができた。 ・発達に合わせた活動を提案することができなかった。 ・島の行事に参加したり、文化を感じられるよう、季節の食材や伝承を保育に取り入れた。 <p>○共感しながら作る暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達の意見を取り入れ、話した内容をポスターにして貼り出した。 <p>○安全な保育環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所、職員間の意識のすり合わせをする時間を設けることができなかった。事故が起きた時などは、その都度環境について話し合った。 ・外部へ出島しての研修に参加した。 <p>②行事の進め方</p> <p>開催行事 5月19日(金)親子遠足 7月14日15日(金・土)お泊り保育 8月6日(日)例大祭参加 9月24日(日)敬老祝賀会出演 9月30日(土)運動会 12月8日(金)おたのしみ会 12月22日(金)もちつきの会 2月2日(金)お別れ遠足 3月15(金)卒園式</p> <p>○子供達の“やりたい”想いが形になる保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事前は、子供達のアイデアを聞く機会を多く持った。 <p>○日々の暮らしを丁寧に保護者へ伝えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日誌のや活動内容、子供達の意見など、掲示方法が定着。保護者も目を通していった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供一人ひとりの発達を考慮した遊び、支援方法を考えることができなかった。 ・例大祭への参加。神輿の掛け声や、島の踊り、歌を保育の中に取り入れた。また、おやつでは、島の郷土料理を提供した。 ・子供達のアイデアや、どんな活動がそのアイデアに繋がったのか、写真も用いて貼り出すことで、より子供達の様子が分かりやすく、保護者も読む様子が見られていた。 ・昼礼が定着し、その日の様子を共有できるようになった。全職員が情報を共有しているため、夕方の保護者対応がスムーズに行えた。 ・子供達と話し合う時間を多く持った。“言われてやる”ではなく、自分で必要なことを考えようとする力や、子供同士で助け合ったり、互いの気持ちを大切にする姿が見られるようになった。 ・日誌の貼り出し方法をボードに変更。玄関周りの内装も踏み込みたくなるような玄関を心掛けた。帰りに日誌を見られなかった保護者も、朝の送りの時間に目を通して様子があった。 ・行事へ向かう際の子供達の様子を写真や話した内容と共に掲示。日々の遊びが行事になっていることがわかるように貼り出した。 	<p>① 保育環境を考える</p> <p>達成率80%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の発達について職員間で話し合い、全体の支援方法、保育内容を決めていく時間が必要。来年度は30日など、月終わりに職員会議を設定し、発達の様子だけではなく、安全管理や、危機管理など、議題を設けて会議を行いたい。 ・今後は貼り出し方法について、保護者にも意見を求める機会を作り、保育園の活動内容に興味を持ってもらいたい。 ・危険な場所に関しては口頭での確認していたが、項目を作り、週に一度安全チェックするなどの環境管理が必要。 ・ヒヤリ・ハット、危険な場所マップが作成してあるが、情報の更新ができなかったため、安全管理についての会議が必要。 <p>③ 行事の進め方</p> <p>達成率75%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供達のアイデア、やりたいことを形にする行事が、子供達にも、保護者にも浸透してきている。今後も子供達が自由な発想を持って、自分たちで作る気持ちを大切にしていきたい。

	<p>令和3年度からの持ち越し事項</p> <p>①保護者への子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育てへの悩みを相談しやすい環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ・小部屋を利用して、気軽に話ができる場所を提供する ○保護者を対象としたイベントの計画 <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いて、子育て講座やワークショップの開催 <p>②園庭側の出入り口・通路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道の修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・子供達が使いやすい高さに修繕する。 ○屋根の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・雨の日も外通路を使用できるようにし、出入り口としてりようできるようにする <p>③園庭整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○劣化した遊具の修繕を行う <p>※前年度からの持ち越し事項においては、継続して進め、時期をみて実施する。</p>	<p>①保護者への子育て支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なとりくみはできなかった。 <p>②園庭側出入り口・通路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度にセンターの修繕業者とミーティングを行ったが、その後の進展なし。 <p>③園庭整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劣化している滑り台、倉庫、三輪車の購入を役場に相談、見積もりを取った。 	<p>②園庭側出入り口・通路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テラス、室内園庭の水道周り、収納、壁紙、窓枠について、外通路の屋根の設置についての相談をした。センターの修繕の際に保育園の修繕も一緒に行えるかどうか検討してもらうことになる。 <p>② 園庭整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の予算に、滑り台、倉庫、三輪車の購入が入り、工事予定となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談後の進展がなし。担当者の変更などもあったため、今後確認が必要。
--	---	---	--	--

項目	令和5年度 事業計画		令和5年度 事業実績		事業実績 具体的内容				達成度																																																																																																											
	小松南らる	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二	小松南らる第一		小松南らる第二		小松南らる第一	小松南らる第二																																																																																																										
利用定員	<p>●事業定員 61名</p> <p>●予算定数</p> <p>4月1日児童数(人)</p> <p>*障がい児 1年生 2名 3年生 1名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	52	2年	5	3年	4	合計	61	<p>●事業定員 32名</p> <p>●予算定数</p> <p>4月1日児童数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	24	3年	7	4年	1	合計	32	<p>●実績 3月在籍児童数(人)</p> <p>入・退…年度途中入退会数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>51(入:3退:4)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>6(入:2退:1)</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>4(入:2退:2)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>61</td> </tr> </tbody> </table> <p>*障がい児 1年生 3名 3年生 1名</p> <p>●子ども総合プランの一環「夏季一時学童」</p> <p>在籍: 1年生2名 2年生3名 3年生3名 4年生2名 計10名</p>	学年	在籍人数	1年	51(入:3退:4)	2年	6(入:2退:1)	3年	4(入:2退:2)	合計	61	<p>●実績 3月在籍児童数(人)</p> <p>入・退…年度途中入退会数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>32</td> </tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	24	3年	7	4年	1	合計	32	<p>●延長保育実績(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月別</th> <th>延長人数</th> <th>月別</th> <th>延長人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>17</td> <td>10月</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>19</td> <td>11月</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>19</td> <td>12月</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>18</td> <td>1月</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>17</td> <td>2月</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>18</td> <td>3月</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2"></td> <td>213</td> </tr> </tbody> </table>	月別	延長人数	月別	延長人数	4月	17	10月	18	5月	19	11月	18	6月	19	12月	17	7月	18	1月	19	8月	17	2月	17	9月	18	3月	16	合計			213	<p>●延長保育実績(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月別</th> <th>延長人数</th> <th>月別</th> <th>延長人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>10</td> <td>10月</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>9</td> <td>11月</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>10</td> <td>12月</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>10</td> <td>1月</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>10</td> <td>2月</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>10</td> <td>3月</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="2"></td> <td>120</td> </tr> </tbody> </table>	月別	延長人数	月別	延長人数	4月	10	10月	10	5月	9	11月	11	6月	10	12月	10	7月	10	1月	10	8月	10	2月	10	9月	10	3月	10	合計			120		
	学年	在籍人数																																																																																																																		
1年	52																																																																																																																			
2年	5																																																																																																																			
3年	4																																																																																																																			
合計	61																																																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																																																			
1年	0																																																																																																																			
2年	24																																																																																																																			
3年	7																																																																																																																			
4年	1																																																																																																																			
合計	32																																																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																																																			
1年	51(入:3退:4)																																																																																																																			
2年	6(入:2退:1)																																																																																																																			
3年	4(入:2退:2)																																																																																																																			
合計	61																																																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																																																			
1年	0																																																																																																																			
2年	24																																																																																																																			
3年	7																																																																																																																			
4年	1																																																																																																																			
合計	32																																																																																																																			
月別	延長人数	月別	延長人数																																																																																																																	
4月	17	10月	18																																																																																																																	
5月	19	11月	18																																																																																																																	
6月	19	12月	17																																																																																																																	
7月	18	1月	19																																																																																																																	
8月	17	2月	17																																																																																																																	
9月	18	3月	16																																																																																																																	
合計			213																																																																																																																	
月別	延長人数	月別	延長人数																																																																																																																	
4月	10	10月	10																																																																																																																	
5月	9	11月	11																																																																																																																	
6月	10	12月	10																																																																																																																	
7月	10	1月	10																																																																																																																	
8月	10	2月	10																																																																																																																	
9月	10	3月	10																																																																																																																	
合計			120																																																																																																																	
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>児童支援員4名 (内非常勤2名)</p> <p>子ども総合プラン 児童支援員2名 (内施設長兼務1名) (内非常勤1名)</p>	<p>●予算人員</p> <p>児童支援員3名 (内非常勤2名)</p>	<p>●実績人員</p> <p>児童支援員4名(内非常勤2名)</p> <p>子ども総合プラン 児童支援員2名 (内施設長兼務1名 非常勤1名)</p> <p>●年度途中の入退職・異動など</p> <p>12月 児童支援員1名 退職</p>	<p>●実績人員</p> <p>児童支援員3名 (内非常勤2名)</p> <p>●年度途中の入退職・異動など</p> <p>2月 児童支援員1名 産休取得</p>																																																																																																																
処遇の特例事項			<p>●感染症</p> <p>6・9・10・11・12・1・2月 インフルエンザ25名</p> <p>7月 新型コロナウイルス感染症1名</p> <p>10・11・12・2月 アデノウイルス感染症7名</p> <p>11・12・1月 溶連菌感染症6名</p> <p>12月 ウイルス性胃腸炎1名</p> <p>●事故・怪我発生件数</p> <p>受診を要する事故・怪我 4件</p> <p>1年女児 右前歯打撲</p> <p>1年男児 外傷性打撲</p> <p>2年男児 角膜擦過創</p> <p>1年女児 右足捻挫</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>	<p>●感染症</p> <p>5・7・2月 新型コロナウイルス感染症5名</p> <p>5・9・10・12・1月 インフルエンザ8名</p> <p>6月 ウイルス性胃腸炎1名</p> <p>12月 アデノウイルス感染症1名 溶連菌感染症1名</p> <p>●事故・怪我発生件数</p> <p>受診を要する事故・怪我 なし</p>	<p>○新型コロナウイルス感染症、インフルエンザなど、感染防止策を徹底し、行事等を実施した。また、学級・学年閉鎖時は、各小学校と連携を図り、感染予防対策を強化した。</p> <p>○らる第一</p> <p>・低学年が、固定遊具で遊んでいる時や、道具を使用している時の怪我が多かった。固定遊具の使い方、道具の使用方法について注意喚起を行った。</p>																																																																																																															

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績		令和5年度 事業実績 具体的内容	達成度									
重点項目	<p><全学童 共通></p> <p>①安心な保育</p> <p>○児童が主体となり、対話（児童達の話し合いの場）を重ねながら、暮らしを創りだす。</p> <p>○日々の暮らし、児童の育ちを可視化し、保護者と共有する。</p>	<p><全学童 共通></p> <p>① 安心な保育</p> <p>○仲間と言葉を交わすことにより、自分の考えを伝え、相手を知る機会となった。</p> <p>○「保育ドキュメンテーション（児童の活動を写真や映像、言葉で記録したもの）について」学び、保育内容や育ちを写真や映像を通して可視化し、保護者と児童の姿を共有した。</p>		<p><全学童 共通></p> <p>① 安心な保育</p> <p>○対話を重ねたことにより、自分とは異なる考えを知り、相手の気持ちを聞き、共に暮らしを創りだしていった。</p> <p>○児童がやりたいことを実現するまでの過程を、児童と支援員でアイデアを出し合い、玄関に写真を掲示し、保護者に伝え、安心な保育へと繋がった。</p>	<p>① 安心な保育</p> <p>全学童 共通</p> <p>達成率 85%</p> <p>・主体的に遊びが展開できるように、引き続き児童の声を聴き、次年度も保育環境について学び、実践に繋げる。</p>									
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="281 499 587 772"> <p>らる第一</p> <p>●好きな人・遊びをきっかけに、仲間関係を深め、安心できる居場所づくりをする。</p> </td> <td data-bbox="587 499 884 772"> <p>るりたつみ</p> <p>●様々な体験を通し、迷いや気づきを、仲間と一緒に考える力を育む。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="281 772 587 1045"> <p>らる第二</p> <p>●多様な価値観に触れ、個々を尊重しながらも、仲間と育ちあう関係づくりを支援する。</p> </td> <td data-bbox="587 772 884 1045"> <p>あや</p> <p>●行事・食体験・遊び等、児童がやりたい事を、主体的に企画・実施し、暮らしを創りだす。</p> </td> </tr> </table>	<p>らる第一</p> <p>●好きな人・遊びをきっかけに、仲間関係を深め、安心できる居場所づくりをする。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●様々な体験を通し、迷いや気づきを、仲間と一緒に考える力を育む。</p>	<p>らる第二</p> <p>●多様な価値観に触れ、個々を尊重しながらも、仲間と育ちあう関係づくりを支援する。</p>		<p>あや</p> <p>●行事・食体験・遊び等、児童がやりたい事を、主体的に企画・実施し、暮らしを創りだす。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="884 499 1291 772"> <p>らる第一</p> <p>●主体的に遊びが展開できるように支援し、遊びを継続する過程の中で、仲間関係が広がった。</p> </td> <td data-bbox="1291 499 1700 772"> <p>るりたつみ</p> <p>●遊び・生活を通して、仲間と気づきを伝え合うことにより、一緒に考える力を育てていった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="884 772 1291 1045"> <p>らる第二</p> <p>●様々な場面や感情から生じる児童の気持ちに寄り添い、仲間と育ちあう関係づくりを支援した。</p> </td> <td data-bbox="1291 772 1700 1045"> <p>あや</p> <p>●やりたい事を、企画する中で、意見の食い違いや、葛藤を重ねながらも、意見をまとめ実施し、充実感を得た。</p> </td> </tr> </table>	<p>らる第一</p> <p>●主体的に遊びが展開できるように支援し、遊びを継続する過程の中で、仲間関係が広がった。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●遊び・生活を通して、仲間と気づきを伝え合うことにより、一緒に考える力を育てていった。</p>	<p>らる第二</p> <p>●様々な場面や感情から生じる児童の気持ちに寄り添い、仲間と育ちあう関係づくりを支援した。</p>	<p>あや</p> <p>●やりたい事を、企画する中で、意見の食い違いや、葛藤を重ねながらも、意見をまとめ実施し、充実感を得た。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1700 499 2059 772"> <p>らる第一</p> <p>●児童の心身の状況や育ちを理解したことにより、安心できる居場所づくりに繋がった。</p> </td> <td data-bbox="2059 499 2415 772"> <p>るりたつみ</p> <p>●迷いや気づきを、経験や知恵を基に対話し、解決方法を見いだしていった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1700 772 2059 1045"> <p>らる第二</p> <p>●暮らしの中で感じた不便さや、疑問に感じたことを声にあげ、仲間と話し合い、関係を紡いでいった。</p> </td> <td data-bbox="2059 772 2415 1045"> <p>あや</p> <p>●仲間と共に作りあげる体験を通し、関係性が深まり、一人ひとりが主体的に企画を実施する姿が見られた。</p> </td> </tr> </table>	<p>らる第一</p> <p>●児童の心身の状況や育ちを理解したことにより、安心できる居場所づくりに繋がった。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●迷いや気づきを、経験や知恵を基に対話し、解決方法を見いだしていった。</p>
<p>らる第一</p> <p>●好きな人・遊びをきっかけに、仲間関係を深め、安心できる居場所づくりをする。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●様々な体験を通し、迷いや気づきを、仲間と一緒に考える力を育む。</p>													
<p>らる第二</p> <p>●多様な価値観に触れ、個々を尊重しながらも、仲間と育ちあう関係づくりを支援する。</p>	<p>あや</p> <p>●行事・食体験・遊び等、児童がやりたい事を、主体的に企画・実施し、暮らしを創りだす。</p>													
<p>らる第一</p> <p>●主体的に遊びが展開できるように支援し、遊びを継続する過程の中で、仲間関係が広がった。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●遊び・生活を通して、仲間と気づきを伝え合うことにより、一緒に考える力を育てていった。</p>													
<p>らる第二</p> <p>●様々な場面や感情から生じる児童の気持ちに寄り添い、仲間と育ちあう関係づくりを支援した。</p>	<p>あや</p> <p>●やりたい事を、企画する中で、意見の食い違いや、葛藤を重ねながらも、意見をまとめ実施し、充実感を得た。</p>													
<p>らる第一</p> <p>●児童の心身の状況や育ちを理解したことにより、安心できる居場所づくりに繋がった。</p>	<p>るりたつみ</p> <p>●迷いや気づきを、経験や知恵を基に対話し、解決方法を見いだしていった。</p>													
<p>らる第二</p> <p>●暮らしの中で感じた不便さや、疑問に感じたことを声にあげ、仲間と話し合い、関係を紡いでいった。</p>	<p>あや</p> <p>●仲間と共に作りあげる体験を通し、関係性が深まり、一人ひとりが主体的に企画を実施する姿が見られた。</p>													
	<p>②安全な保育環境</p> <p>○防災・防犯のための事前の備え</p> <p>・BCP（事業継続計画）を見直し、緊急時の連絡体制を整備する。</p> <p>・あや学童については、防犯性の高い門へ取り換え、不審者侵入防止のための措置を図る。</p> <p>・定期的な訓練を行うと共に、児童が自ら安全を守るための行動について学べるように援助する。</p> <p>○安全対策を講じる</p> <p>・安全計画を策定し、訓練や研修等の児童の安全確保に関する取り組みについて、年間スケジュールを周知し実践する。</p> <p>・緊急時に迅速に対応できるように、必要な学童に、AED（自動体外式除細動器）を設置する。</p> <p>・児童が安全に過ごすために、マニュアル・手順書を継続的に見直し、習慣化を図る。</p>	<p>②安全な保育環境</p> <p>○防災・防犯のための事前の備え</p> <p>・BCP（事業継続計画）を見直し、緊急時の連絡先を、現状に合ったものに変更し、改訂したBCPを周知した。</p> <p>・あや学童については、5月に防犯性の高い門へ取り換え、不審者侵入防止のための措置を図った。</p> <p>・令和5年度に発生した地震について、児童と話し合い、日常的に児童自身が安全を守るための行動について学んだ。</p> <p>○安全対策を講じる</p> <p>・7月に「安全計画」を作成、周知した。全職員が、安全計画の重要性を認識し、共通理解を図った。また、小学校で起きた窒息事故を受け、児童と職員が、事故防止策を話し合い、提供方法を見直した事に安心することなく、見守りの主体は職員であることを共有し、安全対策に努めた。</p> <p>・未設置であった施設（小松南らる第一・第二・西新小岩あや）に、AED（自動体外式除細動器）を設置し、緊急時の迅速な対応に繋がった。</p> <p>・児童が安全に過ごすための各種マニュアルを、安全な保育環境チームが中心となり、現状にあったものに見直し周知した。</p>		<p>②安全な保育環境</p> <p>○防災・防犯のための事前の備え</p> <p>・安全な保育環境チームが、全職員対象に、BCPの災害時行動計画や、マニュアルを基に、シミュレーションを行った。また、今年度発生した大雨や地震を受け、施設としての判断基準や対応を再考した。</p> <p>・あや学童の門を取り換えた事により、施設が保たれ、安全な保育へ繋がった。</p> <p>・地震発生時の室内外の安全ゾーンについて話し合い、安全に関する自己管理能力を高めた。</p> <p>○安全対策を講じる</p> <p>・警察署員による防犯訓練、消防署員による消火・通報訓練・救急救命講習（心肺蘇生やAED使用方法）、窒息時の対応を実施することで、安全計画の内容を実地訓練で確認した。訓練後、各施設の職員が、自主的に訓練を実施し、安全に関する意識を高まった。また、安全な保育環境チームが中心となり、インシデントや、全国の事故事例を通して内部研修を実施し、職員一人ひとりの安全管理能力向上に繋がった。</p> <p>・マニュアル改定：安全点検チェック票／119番・110番対応マニュアル／風水害・火災・地震・急な天候の変化時の対応マニュアル</p> <p>新規作成：戸外活動時の安全マニュアル</p>	<p>②安全な保育環境</p> <p>達成率85%</p> <p>・児童が自ら安全を守るための行動について、学べるように支援を継続してゆく。</p> <p>・職員の安全に関する研修、訓練が、計画より遅れての実施となったものがあった。次年度は、安全計画の浸透化を図り、計画通り実施してゆく。</p>									

<p>③協働的な組織づくり</p> <p>○支え合い高め合う関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の気づきや感じた事、戸惑った事等を自由に話すミーティング（語らいの場）や、月案・昼礼を定期的に開催し、話し合える関係性を育むことで「共に考える」風土をつくる。 ・ 目標を共有し、達成するために、お互いを高め合いながら、個の力を発揮できるチームを目指す。 <p>○職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の保育や研修を通し、学童で大切にしたい保育・行事・食を考察する。 ・ 中堅、リーダー層が中心となり、職員一人ひとりが、主体的に参画できる会議や、内部研修の場づくりをする。また、記録や写真を活用し、保育実践を振り返り、職員全体の資質向上を目指す。 ・ 中堅、リーダー層が、個々の課題や役割を自覚し、業務に当たれるよう育成を強化する。 	<p>③協働的な組織づくり</p> <p>○支え合い高め合う関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中堅層以上が、研修の学びを活かし、安心して対話する場作りを進めたことにより、職員が様々な視点から意見を出し合い、話し合える関係性を育んでいった。 ・ 各施設が、チーム目標達成のために、具体的な行動を共有し、常に見える場所に貼り意識づけ、研修などを通して職員が個々に振り返ったことにより、チームとして醸成していった。 <p>○職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修や他法人施設の見学を通し、大切にしたい保育や食について、保育方針を基に話し合い、今後の保育環境を考えるきっかけとなった。 ・ 中堅、リーダー層が、課題を抽出し、職員会議や勉強会を企画した。また、保育ドキュメンテーション（児童の活動を写真や映像、言葉で記録したもの）について、外部研修を受講した職員が中心となり、学びを共有し、児童の姿の理解へと繋がった。 ・ 階層別研修を実施し、職員の育成を強化した。中堅、リーダー層は、役割の理解。新任、初任層は、職員の基本姿勢や、危機管理能力を高めた。 	<p>③協働的な組織づくり</p> <p>○支え合い高め合う関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が、あたりまえと思っていることに、自ら「問い」を立て、対話する時間と場を定期的に設けたことにより、相互理解に繋がった。 ・ 12月に鈴木 健史氏（東京立正短期大学准教授）を講師に招き、「チームワーク向上を目指して～ともに学ぶ関係性を体験する～」の園内研修を行った。“明日からの私の一歩”を考え、職員一人ひとりが何に取り組めばよいのか、個々の役割を明確化し、協働的な組織づくりに努めた。 <p>○職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中堅、リーダー層が中心となり、当法人の学童保育クラブで大切にしたい保育や食について、保育方針を読み解くワークを行い、共通理解を図った。 ・ 勉強会は、「人権について～相手の立場に立つとは～」「自らの食への思い」「遊びの体験談と玩具」「写真から児童の興味・関心・育ちを視覚的に捉える」「暮らしを創り出すとは」をテーマに話し合い、一人ひとりの気づきを伝え合い、新たな視点を取り入れ、日々の実践を振り返った。 ・ 中堅、リーダー層は、自己・他者が感じる強みと弱みの違いを知り、役割の共通理解を図った。新任、初任層は、9月に法人内児童施設 新任・初任層研修「保育現場の危機管理」（講師：株式会社アイギス 脇 貴志氏）を受講した。また、応急処置方法や、アレルギー児研修、エピペンの使用方法について学び、有事の迅速な対応を強化した。 	<p>③協働的な組織づくり</p> <p>達成率75%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員一人ひとりが、チームの中の自己の役割を明確化し、主体性を育ててゆく。 ・ 当法人の学童保育クラブで大切にしたい保育・行事・食について話し合う時間が足りなかったため、引き続き考察してゆく。 ・ 各階層の育成について、目指す職員像や方向性を明確化し、保育の組織力向上へ繋げる。
---	---	--	--

項目	令和5年度 事業計画		令和5年度 事業実績		事業実績 具体的内容				達成度																																																																																																																											
	りりたつみ	西新小岩あや	りりたつみ	西新小岩あや	りりたつみ		西新小岩あや		りりたつみ	西新小岩あや																																																																																																																										
利用定員	<p>●事業定員40名</p> <p>●予算定数</p> <p>4月1日児童数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>7</td></tr> <tr><td>2年</td><td>10</td></tr> <tr><td>3年</td><td>8</td></tr> <tr><td>4年</td><td>9</td></tr> <tr><td>5年</td><td>4</td></tr> <tr><td>6年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>39</td></tr> </tbody> </table>	学年	在籍人数	1年	7	2年	10	3年	8	4年	9	5年	4	6年	1	合計	39	<p>●事業定員 109名</p> <p>●予算定数</p> <p>4月1日児童数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>42</td></tr> <tr><td>2年</td><td>25</td></tr> <tr><td>3年</td><td>24</td></tr> <tr><td>4年</td><td>17</td></tr> <tr><td>5年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>109</td></tr> </tbody> </table> <p>*障がい児 1・2・3・4年生 各2名 5年生1名</p>	学年	在籍人数	1年	42	2年	25	3年	24	4年	17	5年	1	合計	109	<p>●実績 3月在籍児童数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>7</td></tr> <tr><td>2年</td><td>12(入:2)</td></tr> <tr><td>3年</td><td>9(入:1)</td></tr> <tr><td>4年</td><td>7(退:2)</td></tr> <tr><td>5年</td><td>4</td></tr> <tr><td>6年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>40</td></tr> </tbody> </table> <p>入・退…年度途中入退会数 *障がい児 6年生1名</p>		在籍人数	1年	7	2年	12(入:2)	3年	9(入:1)	4年	7(退:2)	5年	4	6年	1	合計	40	<p>●実績 3月在籍児童数(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>在籍人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1年</td><td>35(入:2退:9)</td></tr> <tr><td>2年</td><td>23(退:2)</td></tr> <tr><td>3年</td><td>12(退:12)</td></tr> <tr><td>4年</td><td>11(退:6)</td></tr> <tr><td>5年</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>82</td></tr> </tbody> </table> <p>入・退…年度途中入退会数 *障がい児 1年生1名 2・3・4年生 各2名 5年生1名</p>		在籍人数	1年	35(入:2退:9)	2年	23(退:2)	3年	12(退:12)	4年	11(退:6)	5年	1	合計	82	<p>●延長保育実績(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月別</th> <th>延長人数</th> <th>月別</th> <th>延長人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>8</td><td>10月</td><td>8</td></tr> <tr><td>5月</td><td>7</td><td>11月</td><td>8</td></tr> <tr><td>6月</td><td>7</td><td>12月</td><td>8</td></tr> <tr><td>7月</td><td>7</td><td>1月</td><td>7</td></tr> <tr><td>8月</td><td>7</td><td>2月</td><td>6</td></tr> <tr><td>9月</td><td>8</td><td>3月</td><td>6</td></tr> <tr><td>合計</td><td colspan="2">87</td><td></td></tr> </tbody> </table>	月別	延長人数	月別	延長人数	4月	8	10月	8	5月	7	11月	8	6月	7	12月	8	7月	7	1月	7	8月	7	2月	6	9月	8	3月	6	合計	87			<p>●延長保育実績(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月別</th> <th>延長人数</th> <th>月別</th> <th>延長人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>24</td><td>10月</td><td>24</td></tr> <tr><td>5月</td><td>25</td><td>11月</td><td>23</td></tr> <tr><td>6月</td><td>26</td><td>12月</td><td>24</td></tr> <tr><td>7月</td><td>24</td><td>1月</td><td>25</td></tr> <tr><td>8月</td><td>24</td><td>2月</td><td>24</td></tr> <tr><td>9月</td><td>26</td><td>3月</td><td>24</td></tr> <tr><td>合計</td><td colspan="2">293</td><td></td></tr> </tbody> </table>	月別	延長人数	月別	延長人数	4月	24	10月	24	5月	25	11月	23	6月	26	12月	24	7月	24	1月	25	8月	24	2月	24	9月	26	3月	24	合計	293				
	学年	在籍人数																																																																																																																																		
1年	7																																																																																																																																			
2年	10																																																																																																																																			
3年	8																																																																																																																																			
4年	9																																																																																																																																			
5年	4																																																																																																																																			
6年	1																																																																																																																																			
合計	39																																																																																																																																			
学年	在籍人数																																																																																																																																			
1年	42																																																																																																																																			
2年	25																																																																																																																																			
3年	24																																																																																																																																			
4年	17																																																																																																																																			
5年	1																																																																																																																																			
合計	109																																																																																																																																			
	在籍人数																																																																																																																																			
1年	7																																																																																																																																			
2年	12(入:2)																																																																																																																																			
3年	9(入:1)																																																																																																																																			
4年	7(退:2)																																																																																																																																			
5年	4																																																																																																																																			
6年	1																																																																																																																																			
合計	40																																																																																																																																			
	在籍人数																																																																																																																																			
1年	35(入:2退:9)																																																																																																																																			
2年	23(退:2)																																																																																																																																			
3年	12(退:12)																																																																																																																																			
4年	11(退:6)																																																																																																																																			
5年	1																																																																																																																																			
合計	82																																																																																																																																			
月別	延長人数	月別	延長人数																																																																																																																																	
4月	8	10月	8																																																																																																																																	
5月	7	11月	8																																																																																																																																	
6月	7	12月	8																																																																																																																																	
7月	7	1月	7																																																																																																																																	
8月	7	2月	6																																																																																																																																	
9月	8	3月	6																																																																																																																																	
合計	87																																																																																																																																			
月別	延長人数	月別	延長人数																																																																																																																																	
4月	24	10月	24																																																																																																																																	
5月	25	11月	23																																																																																																																																	
6月	26	12月	24																																																																																																																																	
7月	24	1月	25																																																																																																																																	
8月	24	2月	24																																																																																																																																	
9月	26	3月	24																																																																																																																																	
合計	293																																																																																																																																			
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>児童支援員3名 (内非常勤1名)</p>	<p>●予算人員</p> <p>児童支援員7名 (内非常勤4) 補助員1名</p>	<p>●実績人員</p> <p>児童支援員3名 (内非常勤1名)</p> <p>●年度途中の入退職・異動など なし</p>	<p>●実績人員</p> <p>児童支援員6名(内非常勤3名) 補助員 2名</p> <p>●年度途中の入退職・異動など 6月 児童支援員1名入職 12月 補助員1名入職</p>																																																																																																																																
処遇の特例事項			<p>●感染症</p> <p>6月 ヘルパンギーナ1名 8月 流行性角結膜炎1名 8月 新型コロナウイルス感染症1名 9・10・11・12・2月 インフルエンザ25名 11・1月 溶連菌感染症3名</p> <p>●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 7件 2年男児 頭頂部挫創 2年女児 頭部打撲・棘刺創 1年女児 右目結膜挫傷 3年女児 左眼角膜びらん 4年男児 左手首骨折 2年男児 右手首骨折</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>	<p>●感染症</p> <p>5・8・9・1月 新型コロナウイルス感染症4名 6・9・10・11・1月・2月 インフルエンザ64名 9・1・2月 溶連菌感染症9名 6月 手足口病1名/12月 流行性耳下腺炎1名/1月 ウイルス性胃腸炎1名</p> <p>●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 2件 1年男児 上前歯打撲 1年男児 左足裏火傷</p>	<p>○るり</p> <p>・戸外遊び中、夢中になるあまり、視点が狭まり、自己転倒したり、周りの人や物に気づけなかった事が原因と思われる。児童と戸外で、物を扱いながらの行動について考える機会を設けると共に、職員間で怪我が起きやすい場所、行動について共有した。</p> <p>○あや</p> <p>・低学年児が、物の扱い方の経験不足や人との距離の取り方がつかめていない事が原因と思われる。児童と物の扱い方や人との距離の取り方について話し合った事により、上級生が下級生に、物の扱い方を伝え、見守る姿が見られるようになっていった。</p>																																																																																																																															

< 令和5年度 事業計画 > 令和5年度 すずうらホーム（特養・短期）事業報告（案）

令和6年5月17日 作成

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度																																																																																																																					
利用定員	<p>●計画人員</p> <p>○予算定数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養予算計画・・・ 年間平均入所率 84名×93%で計画 ・短期予算計画・・・ 年間平均稼働率 8名×80%で計画 <p>*状況に応じて、特例を利用して運営を実施する。</p>	<p>●実績 月別利用人数</p> <p>【特養実績】年間稼働率 「89.27%」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月末在籍者数</td> <td>74名</td> <td>76名</td> <td>79名</td> <td>80名</td> <td>81名</td> <td>82名</td> <td>83名</td> <td>82名</td> <td>80名</td> <td>81名</td> <td>79名</td> <td>80名</td> </tr> <tr> <td>月末入院者数</td> <td>4名</td> <td>5名</td> <td>5名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>5名</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>7名</td> <td>6名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>退所者数</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>入所者数</td> <td>2名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【短期実績】年間稼働率 「70.74%」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延べ日数</td> <td>138</td> <td>150</td> <td>165</td> <td>188</td> <td>195</td> <td>179</td> <td>147</td> <td>196</td> <td>188</td> <td>168</td> <td>164</td> <td>194</td> </tr> <tr> <td>利用者数</td> <td>20名</td> <td>25名</td> <td>24名</td> <td>25名</td> <td>25名</td> <td>25名</td> <td>25名</td> <td>27名</td> <td>28名</td> <td>25名</td> <td>19名</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>内)新規利用者数</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> <td>2名</td> <td>5名</td> <td>1名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table> <p>●事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特養実績の詳細…入院期間「1,692日」、契約解除後空床期間「1,602日」、外泊空床期間「0日」 合計：3,294日 ※退所…男性 9名 女性 16名（計25名） ※入所…男性 14名 女性 16名（計30名） ・短期実績の詳細…年間稼働日数「2,072日」 		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月末在籍者数	74名	76名	79名	80名	81名	82名	83名	82名	80名	81名	79名	80名	月末入院者数	4名	5名	5名	4名	3名	3名	5名	6名	5名	7名	6名	3名	退所者数	3名	1名	0名	2名	3名	2名	1名	3名	3名	2名	4名	1名	入所者数	2名	3名	3名	3名	4名	3名	2名	2名	1名	3名	2名	2名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用延べ日数	138	150	165	188	195	179	147	196	188	168	164	194	利用者数	20名	25名	24名	25名	25名	25名	25名	27名	28名	25名	19名	23名	内)新規利用者数	3名	3名	4名	3名	2名	2名	4名	2名	5名	1名	4名	3名	<p>●実績 月別利用人数</p> <p>●実績人員</p> <p>4月に常勤介護職3名（うち2名は非常勤からの登用）、非常勤機能訓練指導員1名が入職した。年度途中での介護職採用には苦慮し、人材派遣を利用しながら人員配置を行ったが、委員会や居室担当など直接雇用の職員に負担がかかっている状況である。</p> <p>常勤機能訓練指導員が約6ヶ月の育児休業を取得することから非常勤機能訓練指導員を採用し、配置人員を確保することができた。</p>	<p>特養「95.99%」</p> <p>短期「88.43%」</p>
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																													
月末在籍者数	74名	76名	79名	80名	81名	82名	83名	82名	80名	81名	79名	80名																																																																																																													
月末入院者数	4名	5名	5名	4名	3名	3名	5名	6名	5名	7名	6名	3名																																																																																																													
退所者数	3名	1名	0名	2名	3名	2名	1名	3名	3名	2名	4名	1名																																																																																																													
入所者数	2名	3名	3名	3名	4名	3名	2名	2名	1名	3名	2名	2名																																																																																																													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																																																																																													
利用延べ日数	138	150	165	188	195	179	147	196	188	168	164	194																																																																																																													
利用者数	20名	25名	24名	25名	25名	25名	25名	27名	28名	25名	19名	23名																																																																																																													
内)新規利用者数	3名	3名	4名	3名	2名	2名	4名	2名	5名	1名	4名	3名																																																																																																													
職員配置	<p>●配置計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設長 1名（兼務） 管理職 2名（生活相談員兼務 1名） 監督職 1名（介護係長） 介護支援専門員 2名 管理栄養士 2名（常勤） 機能訓練指導員 1名 介護職 常勤 28名 非常勤 10名 看護師 常勤 2名 非常勤 4名 事務員 常勤 2名 非常勤 1名 小計 56名 非常勤医師 2名（内科・精神科） 合計 58名 協力医療機関 5施設 	<p>●実績人員（3月末日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設長 1名・管理職 2名・監督職 1名 一般職 25名（うち、育休 1名、病休 1名） 非常勤 18名（うち、派遣 7名） 小計 47名 非常勤医師 2名 合計 49名 <p>●年度内の入退職</p> <p>入職：介護職 常勤 3名 非常勤 1名 看護師 常勤 0名 非常勤 2名 専門職 常勤 1名 非常勤 1名 事務員 常勤 0名 非常勤 1名（運転手）</p> <p>退職：介護職 常勤 7名 非常勤 0名 看護師 常勤 0名 非常勤 1名 専門職 常勤 1名 非常勤 1名 事務員 常勤 1名 非常勤 1名</p>	<p>●実績人員</p> <p>4月に常勤介護職3名（うち2名は非常勤からの登用）、非常勤機能訓練指導員1名が入職した。年度途中での介護職採用には苦慮し、人材派遣を利用しながら人員配置を行ったが、委員会や居室担当など直接雇用の職員に負担がかかっている状況である。</p> <p>常勤機能訓練指導員が約6ヶ月の育児休業を取得することから非常勤機能訓練指導員を採用し、配置人員を確保することができた。</p>																																																																																																																						
処遇の特例事項		<p>●感染症の状況</p> <p>12月にインフルエンザ感染症が発生 利用者5名 職員2名が罹患 1月に新型コロナウイルス感染症が発生利用者9名 職員3名が罹患</p> <p>●事故発生件数 … 受診を要する怪我 4件 転倒による骨折・・・2件 転倒による打撲・・・1件 誤嚥 ……1件</p> <p>●苦情解決 … 苦情解決委員が召集される苦情はなし</p>	<p>●感染症について</p> <p>12月にインフルエンザ罹患者が数名あったものの、まん延はなかった。東京都による感染症リーダー研修を受講し、感染症対応や予防策、感染症予防対策研修の実施方法について学び、次年度への準備を行った。</p> <p>●事故について</p> <p>施設内研修において「ひやりはっと」をテーマにグループワークに取り組み、リスクマネジメントの考え方を見直した。</p>																																																																																																																						

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度
重点目標	<p>①運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○老朽化に伴う設備の修繕・環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安心・安全に生活できる環境を整備する。 ○人材の確保と育成 <ul style="list-style-type: none"> ・外国人マニュアルを基に受け入れ体制を構築する。 ・人材確保を継続的に実施。 ・研修内容のブラッシュアップや外部講師による研修を企画・実施し、研修を充実させることで職員のスキルアップを図る。 ○各部署・委員会における計画的な活動 <ul style="list-style-type: none"> ・各部署の目標管理、各委員会の活動計画を立て、PDCA サイクルを実践する。また、専門性の理解・連携の向上を目指す。 ○加算取得を目指した取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・各種加算取得に必要な条件を満たすよう、加算の理解・体制の整備を行う。 ○BCP（事業継続計画）の再構築、地域住民との連携・訓練実施。 <p>②生活の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○より良い支援が出来る環境の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・事故やヒヤリハットの分析力を高め、日常生活におけるリスクマネジメントに対する意識・対策の強化を図る。 ・健康な体を作る食提供（食事内容や自助具の選定）。 ・ボランティアや介護相談員の受け入れ再開することにより、利用者の新たな人との繋がりを増やす。 ○楽しみの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に取り組みながら外出行事の企画・実施を行う。 ・行事、レクリエーションやクラブ活動を再開する。 ・販売会等を企画実施し、施設利用者と地域住民が共に参加できる機会を作る事によって社会参加意識を高める。 	<p>① 運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不具合のある設備の修繕を行い、各居室・食堂にエアコンを設置したことで空調管理機能も改善できた。また、日常生活環境の改善にも力を入れて取り組んだ。 ○直接雇用人材の採用は苦慮したが、人材派遣を利用し人員配置は行えた。また、非常勤事務員（運転手）の採用ができたことは業務負担の軽減につながった。外国人人材の採用が急務となるため、特定技能人材の支援機関との関係構築、情報収集を始めた。外部講師によるリーダー研修、排泄支援研修、感染症リーダー研修、サービスマナー研修を行った。 ○各部署・委員会における年間計画及び目標管理を実践し、計画的活動と振り返りを行うことで目的をもった活動・行動ができた。中間で委員長会議を実施し、進捗状況や活動内容・目的の再確認をした。 ○加算取得を目指した取り組み <ul style="list-style-type: none"> LI F E加算取得のために必要な利用者情報を厚生労働省に提出し、10月から算定を開始した。 ○災害・感染症のBCP（事業継続計画）を完成させた。 <p>② 生活の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事故やひやりはっつに対し、フロアだけでなく、安全対策委員会でも検討を行った。多職種が協働で自助具の選定、栄養状態の改善を図り、下剤の見直しや調整による便秘の改善にも取り組んだ。ボランティアや介護相談員の受け入れ再開には至らなかった。 ○毎月の誕生会、食事レクリエーション、季節行事、外注食は継続的に実施でき、コロナで中止となっていた衣類販売会を再開できた。クラブ活動や外出企画は、職員の人員減やサポート者（講師やボランティア等）が見つけれず、実施に至らなかった。 	<p>① 運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○フロア・居室内の環境を様々な視点で確認することで日常業務では気づかない改善すべき点を確認し、より安心・安全な生活環境の整備を実践した。 ○常勤介護職の採用が難しくなっており、非常勤介護職員や派遣職員で人員の配置はできているものの、委員会や居室担当など直接雇用者への業務負担が増している。次年度の外国人人材採用に向け、支援機関との打ち合わせを重ねた。運転手採用により車椅子の修繕などが迅速に行えるようになった。リーダー研修では、各リーダーの長所・短所を把握し、各々の特性を見極めた育成につながった。サービスマナー研修では、「介護現場に求められる接遇」をテーマに行動理念・コミュニケーション・魔のロック等を学び、再認識した。外部講師による研修は、内部研修とは違う緊張感を持って学習できた。 ○各部署の目標管理は、運営会議で進捗を報告、管理票を共有することで、それぞれの部署が何に力を入れ取り組んでいるのかを可視化することができた。委員会は計画に沿って活動し、マニュアルの見直しも的確に行うことができた。 ○加算取得を目指した取り組み <ul style="list-style-type: none"> 科学的介護推進体制加算Ⅰ、個別機能訓練加算Ⅱ、口腔衛生管理加算Ⅰの算定を開始し、各種加算算定に必要な記録、サービスを実施した。 ○BCPの再構成、計画に沿った訓練を行い、災害時に対応できる体制を整備した。 <p>② 生活の質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○繰り返しある「ひやりはっつ」に対し、安全対策委員会を中心にフロア内で検討し、対策が煮詰まった場合には安全対策委員会でも議題に取り上げ、様々な視点で検討・対策を実施した。看護師・栄養士・介護職員が協働で自助具の選定を継続的に実施し、食事摂取量の低下や低栄養がみられる利用者に対し、栄養補助食品を積極的に取り入れ、栄養状態の改善を図った。排便コントロールも積極的に実践し、腸閉塞等の予防、健康的な生活が送れるよう取り組んだ。 ○再開した衣類販売会では、自ら服を選んだり、家族と買い物を楽しむ利用者の笑顔が多くみられた。年間通して感染症が流行していたこともあり、外出やクラブ活動の実施に積極的に動くことはできなかったが、季節行事や食事レクリエーション、変わり湯を通して季節を感じる機会を多く実施することができた。また、家族との外出・外食をする方が増え、送迎支援などを行った。 	<p>【達成度：85%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○計画的に新規面接を実施し、十分な待機者確保を実践すると共に円滑な入所のための調整・管理方法を検討する。 ○外国人雇用に向けた体制整備とマニュアル周知と見直しを行う。 ○BCPは今後もブラッシュアップし、活用しやすいものにする。 <p>【達成度：90%】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域との連携強化に向け、方法を検討し実践する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都福祉サービス第三者評価を計画 第三者評価実施時期については前年度と近い時期で実施を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都福祉サービス第三者評価を計画通りの実施 ・令和5年10月から令和6年3月まで実施（評価結果報告まで含む） 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京都福祉サービス第三者評価を計画通りの実施 ・評価業者は「一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所」 ・家族アンケートでは「大変満足」、「満足」と合わせて86%という結果であった。 	

< 令和5年度 事業計画 >

令和5年度 西新小岩在宅サービスセンター 事業報告(案)

令和6年5月22日 作成

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績(課題)	事業実績 具体的内容	達成度																																										
利用定員	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日数 293日 ・登録者数 60人 ・1日の目標利用者数 22名 ・目標稼働率 75% 	<p>●実績人員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日数 293日 ・1ヶ月あたりの利用者数 約404人 ・新規契約者 21人 ・解約者 31人(施設入所17名 死亡8名その他6名) 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>営業月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月利用者数</td> <td>46名</td> <td>44名</td> <td>47名</td> <td>46名</td> <td>45名</td> <td>43名</td> </tr> <tr> <td>月末登録者</td> <td>408名</td> <td>433名</td> <td>461名</td> <td>444名</td> <td>452名</td> <td>432名</td> </tr> <tr> <th>営業月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> </tr> <tr> <td>月利用者数</td> <td>42名</td> <td>42名</td> <td>42名</td> <td>42名</td> <td>38名</td> <td>38名</td> </tr> <tr> <td>月末登録者</td> <td>420名</td> <td>398名</td> <td>389名</td> <td>330名</td> <td>334名</td> <td>353名</td> </tr> </tbody> </table>	営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	月利用者数	46名	44名	47名	46名	45名	43名	月末登録者	408名	433名	461名	444名	452名	432名	営業月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月利用者数	42名	42名	42名	42名	38名	38名	月末登録者	420名	398名	389名	330名	334名	353名	<p>計画稼働率からの達成率 75.3%</p> <p>利用定員ベースでの稼働率 55.2%</p>
営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月																																								
月利用者数	46名	44名	47名	46名	45名	43名																																								
月末登録者	408名	433名	461名	444名	452名	432名																																								
営業月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																								
月利用者数	42名	42名	42名	42名	38名	38名																																								
月末登録者	420名	398名	389名	330名	334名	353名																																								
職員配置	<p>●予算人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 1名 (すずうらホーム施設長兼務) 監督職 1名 (生活相談員兼務) 生活相談員 2名 (1名介護職兼務) 看護職(非常勤) 1名 介護職 6名 (常勤換算5.4人) <p style="text-align: center;">合計 11名</p>	<p>●実績人員</p> <ul style="list-style-type: none"> 所長 1名 (すずうらホーム施設長兼務) 監督職 1名 (生活相談員兼務) 生活相談員 2名 (1名介護職兼務) 看護職 1名 (非常勤職員) 介護職 6名 常勤換算4.6名 <p style="text-align: center;">合計 11名</p> <p>○年度途中の入退職・異動など</p> <ul style="list-style-type: none"> 正規介護職員1名、5月末で退職 派遣介護職員1名(週5日)、3/1~採用 派遣介護職員1名(週2日~3日)3/1~採用 																																												
処遇の特例事項	<p>●感染症予防・拡大防止対策・マニュアルに基づいた対策を行う</p> <p>●事故・怪我対応・マニュアルに基づいた対策を行う。</p>	<p>●感染症の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症罹患利用者5名 ・インフルエンザ感染症罹患患者1名 <p>●事故発生件数…受診を要する怪我 0件</p> <p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし</p>	<p>●感染症について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染症予防対策を講じると共に、季節性の感染症の予防対策や感染拡大防止策を徹底して行った。 <p>●事故防止について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアルに基づいて対策を実施した。 																																											

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	
重点目標	<p>1、運営の安定を図る</p> <p>①登録者数増、稼働率向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振替利用のシステムの構築。 ・介護支援専門員へのプロモーション活動。 ・SNSなどの活用により事業所の活動を発信する事で利用者の家族への安心感の醸成にもつながる。 ・地域への働きかけとしてにじいろマルシェを継続 ・地域との防災について仕組みを考える。 ・潜在顧客を獲得するため、「介護予防・日常生活支援総合事業、一般介護予防」の」実施 地域住民の交流の場としてサロン開設やサークル活動、体操教室の実施 <p>②利用者の満足度向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者様が興味をもち参加できる活動プログラム提供 ・利用者の「やりたい・やってみたい」が実現できる事業所を目指し付加価値を付ける。 <p>2、職員の育成強化</p> <p>①継続的にサービスを洗練化しマニュアルを整えてサービスを一定にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の利用者対応する職員教育体制の整備をする。 ・職員の主体性を育み、介護・処遇の質の向上を目指す。 <p>②リスクマネージメントの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全を守り事業所の信用を高める。 ・職員の危機管理能力を高め、安全で質の高いサービス提供を目指す。 ・感染症、災害BCP（事業継続計画）の構築 	<p>1、運営の安定を図る</p> <p>①登録者数、稼働率向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振替利用について利用者家族、担当ケアマネに積極的にアナウンスした。 ・プロモーション活動をするにあたって広報誌、SNS投稿や写真の掲載など個人情報の取り扱いについて勉強会を実施した。 ・にじいろマルシェを毎月第4土曜日に開催した。（令和4年5月から定期開催） ・にじいろマルシェを継続的に開催し地域住民に施設を知っていただく機会が出来た。 ・保険外サービス夕食持ち帰り弁当を8月から開始した。 <p>②利用者満足度の向上を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午後の活動に選択制を取り入れ自己決定を促した。 ・年中行事の充実を図った。 ・活動に回想法を取り入れた。 <p>2、職員の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部研修を定期的実施し利用者処遇、接遇に対する知識を深めた。 ・認知症のBPSD（行動、心理症状）について学んだ。 ・高齢者虐待、身体拘束の適正化について学びを深めた。 ・リスクに関する情報を情報収集し職員間で共有、改善策を話し合った。 	<p>1、運営の安定を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用日が祝日や通院などの私用により欠席時や活動プログラム（イベントなど）に参加したい等、振替利用につながった。 ・毎月のデイサービスでの活動プログラムや食事献立、活動写真など利用者の様子をアウトプットした。また、利用者の現状抱える課題を関係機関に情報提供することで良好な関係が構築できた。 ・毎回多くの方に参加していただくことが出来た。また来場者から介護相談やボランティア活動について問い合わせをいただき、デイサービスでの活動にもつながった。また、施設に対してのイメージが変わったとの声も聞かれた。 ・持ち帰り可能な時間に合わせて利用時間の延長や利用回数増に繋がった。また家族の体調不良や急用時の当日申し込みにも臨機応変に対応した。 ・選択制のレクリエーションの実施（書道、手工作や趣味活動カラオケなどを通常プログラムの他で選択し、利用者の「やりたい、やってみたい」が実現できる活動内容にした。 ・昔のことを思いだして回想しながら活動に取り組む事で、自尊心の回復につながった。 <p>2、職員の育成強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者処遇三大介助においてOJTを実施しケアの標準化を目指した。 ・サービスの生産性を向上させるため、業務の洗い出しを行い、役割を明確にした。 ・認知症の中核症状とBPSDとの違い、原因や悪化させない関わり方について勉強会を開催した。 ・高齢者虐待防止、身体拘束等適正化の指針を完成させた。 ・IP電話が日々の業務での連絡ツールとして定着した。 1対複数で会話ができるので伝達が楽になった。また、人を探して伝えるという無駄な動きが削減でき業務の効率化に繋がった。 ・感染症、災害BCPが完成した。 	<p>達成率 90%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・潜在顧客獲得に向けた取り組み「一般介護予防の運動教室、高齢者サロンの開催を目指す。 ・地域との防災についての仕組みづくりを考える。 <p>達成率 95%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更に職員の主体性を育み介護サービスの生産性向上をめざす。

< 令和5年度 事業計画 >

令和5年度 すずうら居宅介護支援事業所 事業報告(案)

令和6年5月22日 作成

項目	令和5年度 事業計画	令和5年度 事業実績	事業実績 具体的内容	達成度
利用定員	<p>●予算定数</p> <p>ケアプラン作成利用者数 92件/月 延べ1,104件</p>	<p>●実績</p> <p>居宅サービス計画書作成延べ件数 1,143月件 月平均件数 95.2件</p> <p>・新規契約者 30名</p> <p>・事業所解約者 57名 (施設入所14名、永眠9名、事業所移管34名)</p> <p>●認定調査受託件数 区内、他区・他県からの認定調査受託件数 204件</p>	<p>●実績人員</p> <p>・要介護者事業所契約者数 利用者数 当初予定 年間延べ1,104件 / 実績 1,143件</p> <p>●認定調査受託件数 累計 204件</p>	<p>●実績人員</p> <p>達成率 100%</p> <p>・1名育児休暇取得のため、他事業所移管が多かったが、年間延べ件数は達成できた。</p>
職員配置	<p>●予算人員</p> <p>管理者(兼務) 1名 介護支援専門員 常勤2名 非常勤1名 計3名</p>	<p>●年度途中の入職・退職</p> <p>・配置状況</p> <p>管理者(兼務) 1名 常勤 2名 非常勤 1名</p>	<p>●実績人員</p> <p>管理者 1名(兼務) 介護支援専門員 常勤2名 非常勤1名 計3名 非常勤⇒令和5年12月より産前産後休暇・育児休業取得</p>	
処遇の特例事項		<p>●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし</p>		
重点項目	<p>1、運営の安定化を図る</p> <p>2、サービスの資質向上に努める</p> <p>3、医療との連携を強化</p>	<p>1、運営の安定化を図る</p> <p>①他居宅介護支援事業所の閉鎖や介護支援専門員退職に伴い、事例引継ぎの依頼が多く、事業所契約数の維持・増加につながった。</p> <p>②引継ぎ事案が多く、サービス変更はせず、在宅生活維持を優先に考えた居宅サービス計画書作成及び本人・家族との関係構築に努めた。</p> <p>2、サービスの資質向上に努める</p> <p>①高齢者権利擁護、虐待防止の取り組みについて</p> <p>・業所内で委員会の設立、委員会の開催を定期的に実施した。</p> <p>・高齢者虐待予防マニュアルの整備及び指針の作成を行なった。</p> <p>・都度、困難事例検討会の実施を行ない、地域包括支援センターと共に同行訪問や情報共有に努めた。</p> <p>② BCP(事業継続計画)の取り組みを見直す</p> <p>・感染症BCPのマニュアル補足、見直しを行い、感染症委員会の開催、研修を行った。</p> <p>・災害時BCPの補足及び見直しを実施した。</p> <p>3、医療との連携を強化</p> <p>①かかりつけ医や入院先医療機関、医療サービス事業所と連携を図り在宅生活を安心して送れる環境作りの提案を行った。</p> <p>・通院同行や訪問診療の診察に立ち合い、医師の意見を盛り込んだ居宅サービス計画書の作成を行い、疾患に対して本人、家族が不安なく在宅生活を送れるように支援した。</p>	<p>1、運営の安定化を図る</p> <p>・一時、事例引継ぎ件数で、事業所契約数は増加したが、下期に入り介護支援専門員1名、育児休暇取得のため事業所移管や永眠、施設入所が続き、事業所解約者が増加した。</p> <p>・事業所移管者が増加したが、事業所契約数は年間目標を維持できた。</p> <p>2、サービスの資質向上に努める</p> <p>① 高齢者権利擁護、虐待防止の取り組みについて</p> <p>・高齢者虐待予防の指針の作成を行い、事業所内で周知及び東京都主催の研修へ参加した。</p> <p>・地域包括支援センターから困難案件として相談があった際は、同行訪問を実施した。</p> <p>・本人・家族へ啓蒙活動を行い、本人・家族への情報提供を働きかけた。</p> <p>・地域包括支援センター主催の困難事例検討会に参加した。</p> <p>② BCP(事業継続計画)の取り組みを見直す</p> <p>・感染症BCP,災害時BCP,簡易版BCPの作成、完備をおこなった。</p> <p>・利用者・家族にも感染症に対する情報提供を行い、感染予防の啓発に努めた。</p> <p>3、医療との連携を強化</p> <p>・医療機関やかかりつけ医への情報提供をおこなった。</p> <p>・入院時や退院時には医療機関相談員と連携し、退院時在宅支援会議を開催。関係事業所の参加も促し、本人・家族の不安解消に向け、居宅サービス計画書作成を行った。</p> <p>・通院同行や訪問診療時立ち合い、医師・医療機関との関係性を構築した。</p>	<p>達成率 95%</p> <p>介護保険新規申し込み利用相談を受け入れ、事業所契約数の増加を目指す。</p> <p>達成率 100%</p> <p>達成率 100%</p>

項目	前年度計画	前年度実績 (課題)	令和 6 年度 事業計画
利用定員	<p>●計画人員 (ケアプラン作成利用者数) 延べ 1,104 件/年 92 件/月</p>	<p>●実績 ケアプラン作成利用者数 (令和 6 年 2 月末日現在) 介護ケアプラン作成 1070 件 1 ヶ月平均 97.2 件 ●その他 予防ケアプラン受託作成数 延べ件数 161 件 認定調査受託件数 169 件</p>	<p>●計画人員 (ケアプラン作成利用者数) 居宅サービス計画書作成件数 延べ 912 件/年 平均 78 件/月 予防サービス計画書作成件数 延べ 120 件/年 平均 10 件/月 ●認定調査受託件数 区内、他区・他県からの認定調査受託件数 延べ 120 件/年 10 件/月</p>
職員配置	<p>●配置計画 管理者 (兼務) 1 名 介護支援専門員 常勤 1 名・非常勤 2 名</p>	<p>●配置計画 管理者 (兼務) 1 名 介護支援専門員 常勤 2 名 非常勤 1 名</p>	<p>●配置計画 管理者 (兼務) 1 名 介護支援専門員 常勤 2 名 (1 名兼務) 非常勤 1 名 (育児休暇) 計 2 名</p>
処遇の特例事項		<p>●居宅のサービスにおける苦情・事故はなかった</p>	
重点項目	<p>1、運営の安定化を図る</p> <p>2、サービスの資質向上に努める</p> <p>3、医療との連携を強化</p>	<p>1、運営の安定化を図る</p> <p>①他居宅介護支援事業所の閉鎖や介護支援専門員退職に伴い、事例引継ぎの依頼が多く、事業所契約数の維持・増加したが下期は非常勤が産前産後休暇取得に伴い、事業所解約が多かった。</p> <p>2、サービスの資質向上に努める</p> <p>①高齢者権利擁護、虐待防止の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業所内で委員会の設立、委員会の開催を定期的実施した。 ・高齢者虐待予防マニュアルの整備及び指針の作成を行なった。 ・都度、困難事例検討会の実施を行ない、地域包括支援センターと共に同行訪問や情報共有に努めた。 <p>② BCP (事業継続計画) の取り組みを見直す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症 BCP のマニュアル補足、見直しを行い、感染症委員会の開催、研修を行った。 ・災害時 BCP の補足及び見直しを実施した。 <p>3、医療との連携を強化</p> <p>①かかりつけ医や入院先医療機関、医療サービス事業所と連携を図り在宅生活を安心して送れる環境作りの提案を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通院同行や訪問診療の診察に立ち合い、医師の意見を盛り込んだ居宅サービス計画書の作成を行い、疾患に対して本人・家族が不安なく在宅生活を送れるように支援した。 	<p>1、運営の安定化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者に関わる医療機関・医療サービス事業所、介護サービス事業所と情報共有を図り、在宅生活が維持できるようにサービスの調整を図り、居宅サービス計画書に反映させる。 ○介護保険法改正に伴い、事業所内共通認識を持ち、居宅支援を行なっていく。 <p>2、サービスの資質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業所内で委員会及び研修を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染症委員会、虐待予防委員会等 ・虐待研修、認知症研修、ハラスメント研修等 ○業務継続計画の定期的な見直し、他事業所との連携及び事業所としての検証を行う。 ○地域ケア会議に出席し、地域との関係性作りを行う。 ○居宅が窓口となり当法人の併設事業所を紹介し、サービス利用につなげていく。 <p>3、医療との連携を強化</p> <p>①かかりつけ医や入院先医療機関、医療サービス事業所と連携を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関へ入院した際に介護情報提供を行い、退院時にスムーズな在宅生活を送れるよう事前に本人・家族の意向をくみ取ったサービスの提案、紹介を行う。 ・医師の意見を盛り込んだ居宅サービス計画書の作成を行い、本人・家族が不安なく在宅生活を送れるように支援していく。